

『**地域のため**』に、**みんな**でできること

コロナ禍の中で、子どもも大人も行動が制限されてきました。しかし、浅江中の生徒は、地域への感謝の気持ちは忘れておらず、「地域のために何かできることはないか」という声をよく口にします。先週開催した生徒総会でも、「**どのような地域貢献活動ができるか？**」を議題の一つとして取り上げるなど、生徒たちは、「15歳は地域の担い手」とであるという意識を忘れていません。

そのような中、浅江中校区で公共事業を行っている“企業”から、「**地域貢献活動をしたい**」との申し出があり、同時に“浅江中おやじの会”からも「**何かでできることはないだろうか？**」という、たいへんありがたいご提案をいただきました。

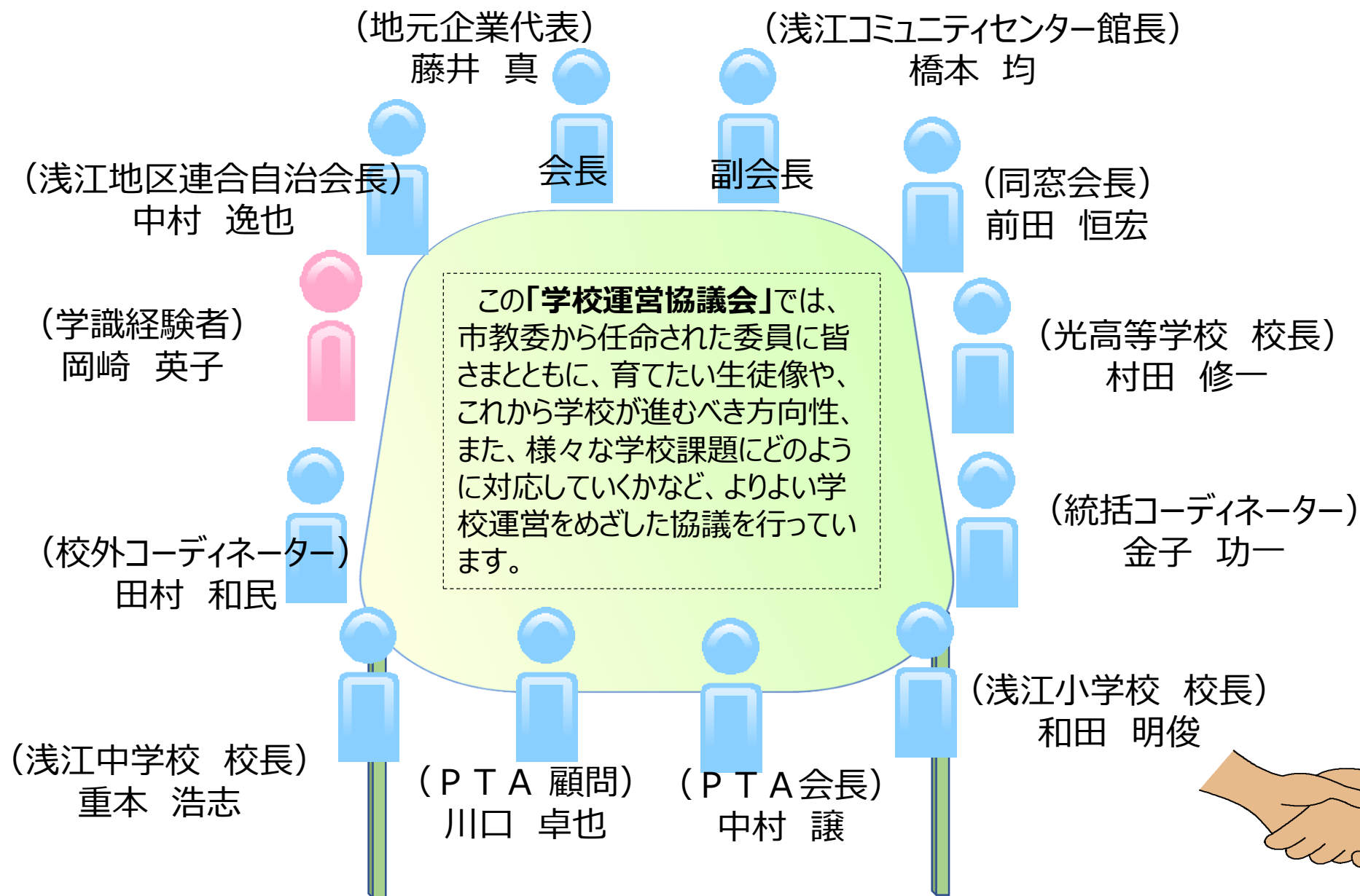
そこで、手つかずの状態になっていた野球バックネット裏の木の伐採、及び外の水路の整備を、6月20日にコラボ企画で行うこととなりました。

今回は、人の交流こそできませんでしたが、コロナ禍の中でもできる「地域貢献活動」の一つの形です。次は生徒のアイデアによる“地域貢献活動”を期待しています。



令和2年度 浅江中学校 学校運営協議会の委員を紹介します

(敬称略)



浅江小学校 学校運営協議会



※今年度から、本格的に「小中一貫教育」を進めています。そのため、浅江中の学校運営協議会は浅江小の学校運営協議会とともに「**あさなえ学園運営協議会**」として一体的に進めていきます。